

ディスカバー佐倉

第6回

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



(公社)佐倉市シルバー人材センター
ホームページ

研修分科会って なにをする委員会?

ご存知でしたか?

今回は「研修分科会」の活動紹介です



4月号に続く分科会紹介の三番目として『研修分科会』を取材しました。会員と直々に接する機会も多いこの会について、下田委員長に紹介をしていただきます。



委員長 (理事) 下田 貢さん

計5名)を構成メンバーとし平成28年に設立された分科会です。現在は、下田(委員長)、岩淵さん(副委員長)、相川さん(委員、初代の委員長)と羽部さん(事務局次長)の4名で活動を行っています。(女性委員の池田さんが2月に退任)

分科会の本年度の活動目標は、会員の就業機会拡大に役立つ研修の実施で、家事支援職のスキルアップ研修や技能職拡大のための技能者育成研修、そして、顧客満足向上のための接遇力に資する研修を企画しています。

現在の分科会の最大の悩みは、コロナ禍のため対面による研修会が開催できないことです。受講者の気持ちに寄り添った丁寧な研修と考えたとき、対面式は欠かせない方法と考えるためです。また、研修は押し付けられたものでは面白くありません。会員の皆さまが興味を持つような研修が企画できたら幸いです。



事務局委員(事務局次長) 羽部 敏夫さん

当センター事業の要の一つは会員とお客様との関係です。優秀な技術による就業達成は勿論ではありますが、会員とお客様との良好な関係は、単に当センターの業績に直結するだけでなく、当センターの財産そのものです。研修分科会は「接遇マナー」研修を通じて、上記理念の達成の為に活動して参りました。今後とも活動範囲を拡大致しますので、宜しくお願い致します。

研修分科会は、会員が仕事に就ける機会を増やせるように、個々の能力と仕事の品質を高めるのに大切な事柄を研修にて、会員にわかり易く伝える役目を担っています。委員の皆さん、今年度も宜しくお願い致します。

取材担当/広報委員 徳野 廣一



副委員長(理事) 岩淵 功さん

昨年度の途中から研修分科会に参加し、まだ若葉マークです。従来の対面式の研修会は、「コロナ禍」のため、昨年度は一回しか開催できず、通信研修を実施してきました。皆様のご協力に感謝いたします。アンケートの提出よろしく。



委員(会員) 相川 浩一さん

委員として1年間、接遇に関する企画開催に参加してきました。講師も手分けして実施しました。第一印象の大切さを事例も交えて伝えるよう継続します。

佐倉で四国八十八ヶ所巡りができる「六崎組十善講」

全国各地にミニ四国八十八ヶ所があり、これらの札所を巡礼して回る(遍路)ために結成されたグループが、大師講で、佐倉では「六崎組十善講」と言う講が明治33年に発足されて活動が盛んになったそうである。当時の講員は、根郷村、佐倉町、白井町、和田村、志津村、千代田村、旭村、酒々井町の合計3町5村、438名であったと言う。



この十善講を組織化し、名付けたのが六崎にある鏡宝寺(一番札所)、時の住僧であり、以来、鏡宝寺の住僧が受け継いできたものである。

(根郷公民館「根郷風土記」より参照)

札

所の遍路には大回り和小回りの2種類があり、大回りは毎年4月8日から16日(9日間)毎日遍路し、小回りは同じ順路を6月から3月(12月は除く)の毎月21日に遍路する。

今回、ちょうどその大回りの期間中であることを鏡宝寺を訪ねて知り、早速、先達人の高山様(志津)へ連絡をとっていただき、都合良い日時を決めてもらってから、まず本佐倉の清光寺(70番札所)へ伺って、その遍路の様子を垣間見ることが出来た。

まず講員のグループを引率する者が先達人であり、別のほら貝を持った者が山門に入る前に合図のほら貝を吹き、本堂の前で並んで御本尊に般若心経を唱え、次に大師堂へ行きご詠歌を歌い、光明真言などを唱えてから退山する。次の札所までの距離が近い時は徒歩で、距離が遠い時は車で移動。



清光寺の本堂前で



弘法大師の石仏



吉祥院の本堂前で



光徳院(廃寺)の大師堂前で



鏡宝寺の大師堂前で

すでに廃寺となって太子堂だけがある光徳院のような札所も多くあるが巡拝されている。

今回の十善講の参加者は、白装束姿の男女合わせて7名の高齢者で、最高齢の高山先達人は85歳で、20年前から講員になって毎年この行事に参加しているが、その頃は講員も28名程いたと言う。

9日目の最終日に鏡宝寺に戻り、無事に結願を迎えたことを「南無大師遍照金剛」と刻まれた記念碑の前で報告の祈願、本堂で護摩をたき講員の加護ご利益を祈り「廻向文」<願くは此の功德を以って、……仏道を成ぜんことを>で終わる。

ぜひ動画も併せてご覧下さい。



動画

取材担当/広報委員 長谷川 幸雄

オンライン講習会開催

ZOOM会議を始めましょう!!



マンツーマンで教えていただけます

3月下旬から4月中旬までの毎週木曜日、センター事務局とパソコン班の主催によるオンライン講習会が、ワークプラザ2階会議室で開催されました。感染予防で三密を避けるため、受講者を事前予約の最大8名までとして行われました。

講習では、長谷川宏祐パソコン班班長の主旨説明をかきりに、ZOOMの設定から会議への参加までの具体的な取り扱い方を学びました。受講会員には、パソコン班の方がマンツーマンで説明を行い、全員が1時間半足らずでZOOM会議に参加できるまでになりました。



受講会員は、持参したノートパソコンとスマホの2グループに分かれ、熱心に受講していました。最終的に、画面に参加者が映し出されると、皆さん喜びをあらわにしていました。

意外と簡単でした!

受講の動機を伺ってみたいところ、地区班会議への参加や、職群班の打ち合わせ、仕事仲間との連絡を目的とする方や、新しいことへ挑戦してみたい方と様々です。受講した感想は、最初はうまくできるか心配でしたが、やってみると意外と簡単にでき、これからいろいろな面で役立てたいとのことでした。



4月号で紹介したオンライン講習会の模様をお知らせします

自宅でもオンライン会議の練習ができます

練習用の会議室「ハローシニア佐倉 談話室」が開設されました。

ミーティングID : 486 548 2002
パスコード : abcd123456
毎週木曜日 13:00~16:00
復習・練習・質問等があれば、是非「参加する」ボタンを押してください。パソコン班の方が、親切・丁寧に教えて下さいます。

会報でもお知らせがありましたが、多くの会員がオンライン会議に参加できるように、ZOOM講習会が定期的に開催されます。

*日程:5月6日(木)から、当面、
毎週木曜日 10:00~12:00
*場所:センター ワークプラザ2階会議室
・参加費は無料、事前予約申し込みは事務局まで

ビデオによるZOOM講習が、センターホームページにも掲載されていますので、是非ご覧ください。

さあ、オンラインで会議を始めましょう!!

「趣味の情報交換」「会員同士の懇親会」などにもZOOMを活用しましょう!!

今回ご協力をいただきました、長谷川班長始め、パソコン班の皆様へ感謝申し上げます。

スマホでもご覧下さい



動画

取材担当/広報副委員長 葛西 正敏

趣味と人

雅号「湯浅金左衛門」

取材は感染予防をしっかりと行いながら、白井田のご自宅にお邪魔し音楽活動を中心に、幅広い趣味についてもお話を伺いました。

まずは湯浅さんのお人なりをお聞きました。湯浅家は鎌倉時代から600年以上続く家系で、戦国時代の1575年に白井城主となった原氏の筆頭執権役(家老職)として白井に住居を構え、征路さんと30代目。60歳の時に代々家督相続人が襲名して来た「湯浅金左衛門」の名を襲名し、俳句、小説、作詞作曲などの雅号として使われています。

湯浅家代々伝わる鎌倉時代の長尺の日本刀や、室町時代からの槍を拝見しました。



▲鎌倉時代から伝わる日本刀

カントリー・ウエスタンバンドでのセミプロ活動

湯浅さんは、カントリー・ウエスタンの全国大会で優勝するなど、大学時代から音楽の才能を発揮されていました。社会人になって一旦活動を休止、再び音楽活動を開始するのは28年前の50歳の時。カントリー・ウエスタンのバンドを結成し、バンドリーダーとしてリードギターを担当しました。バンド名は「country gentleman」。佐倉市、成田市、千葉市の主なホテルやライブハウスなどで、多数のコンサートをこなすセミプロのバンドとして活躍しました。15年ほど前にメンバー2名が亡くなったこともあり、残念ながらバンドは解散しました。



▲カントリーウエスタンを歌う湯浅さん

今月は当センターの監事を務めておられる湯浅征路さん取材しました。湯浅さんの長年の音楽活動は「人と趣味」というタイトルにそぐわないほど、趣味を通り越した領域でした。

バンド解散後の音楽活動

バンド解散後は音楽イベントのプロデューサーとシンガーとして、新たな音楽活動の場を広げられました。



▲長沢純さんと

10年前には大学同窓の1年先輩、長沢純さんの芸能生活50周年記念イベントを佐倉市民音楽ホールで開催、これをプロデュースしました。イベントにはジェリー藤尾さんや鈴木やすしさんらも共演し、会場は超満員で大反響を呼びました。

2年前にはグラミー賞を受賞した佐倉市在住のサクソ奏者、佐藤洋介氏のチャリティーコンサートを佐倉ミレニアムセンターでプロデュースし、

湯浅さんもシンガーとして舞台に立ちました。湯浅さんの歌は「湯浅金左衛門」としてYouTubeで視聴することができます。また、八千代市在住のシンガーソングライター、ミナキー(水木翔子)さんのコンサートを多数プロデュースし、その中でも市内の勝寿寺で行ったものはお寺ライブとして話題になりました。昨年2月、長年のチャリティー活動と多額の寄付に対して、社会福祉協議会から表彰を受けました。



▲ミナキーさんのお寺ライブ

コロナ禍でも

昨年8月に開催予定だった、佐藤洋介氏が指導するキッズジャズバンドとシニアジャズグループのジョイントコンサートが中止を余儀なくされたのは残念でした。コロナ禍が晴れた暁には、まずは中止になったジャズのジョイントコンサートを実現し、更には佐藤洋介氏とミナキーさんのコラボレーションの企画なども考えているとのことでした。

最近当センターのパソコン班の沼田さんにお手伝い頂いて、ご自身の歌唱集のCDを2枚作りしました。コロナ禍でスタジオを使えないため、自宅でICレコーダーと音楽編集ソフトを使いながら制作されたとのことでしたが、聴かせて頂くと、素晴らしい歌唱集でした。



出版書籍とCD・DVD▶

音楽以外にも多彩な趣味

音楽の他には、俳句を作られたり小説を書かれたりと多彩な才能を発揮されています。さらに仏画、書、刻字の数々の素晴らしい作品も拝見しました。

スポーツでもテニス、筋トレ、ウォーキングで体力維持増強を怠らず毎日をご過ごされているとのこと。まさに「一芸に秀でる人は多芸に通ず」の諺の通りの湯浅さんでした。

取材へのご協力、ありがとうございました。

記事担当/広報委員 小野寺 弘孝

「人と趣味」欄に登場していただくのにふさわしい、趣味や特技をお持ちの会員をご存じでしたら、ご紹介ください。自薦他薦を問いません。

ご紹介先/佐倉シルバー人材センター
総務担当 柿丸さん又は森岡さんまで
電話/043-486-5482
メール/kakimaru@sakura-sjc.or.jp